

令和6年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

新潟工科大学

令和7年5月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・新潟工科大学食品機能開発研究センター規程（平成 25 年 3 月 22 日制定） ・新潟工科大学動物実験規程（平成 24 年 5 月 29 日制定）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 機関内規程が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・新潟工科大学食品機能開発研究センター規程（平成 25 年 3 月 22 日制定） ・新潟工科大学動物実験規程（平成 24 年 5 月 29 日制定） ・新潟工科大学食品機能開発研究センター運営委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 食品機能開発研究センター運営委員会が適正に設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 新潟工科大学動物実験規程 (平成 24 年 5 月 29 日制定)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 動物実験規程に適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 ☒ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)
4) 改善の方針、達成予定時期

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、同施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・新潟工科大学動物実験規程（平成 24 年 5 月 29 日制定）
- ・新潟工科大学食品機能開発研究センター利用マニュアル（平成 24 年 7 月 4 日制定）
- ・新潟工科大学食品機能開発研究センターにおける地震等災害発生時の対応マニュアル（平成 24 年 7 月 4 日制定）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

食品機能開発研究センターに動物飼育室が適正に設置されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果

- ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・新潟工科大学食品機能開発研究センター運営委員会名簿
- ・食品機能開発研究センター運営委員会議事概要（第 13 回：令和 6 年 9 月 20 日）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

規程に基づき、適正な活動を実施している。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果

- ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・新潟工科大学動物実験計画書（承認番号 23・24）
- ・食品機能開発研究センター運営委員会議事概要（第 13 回：令和 6 年 9 月 20 日）
- ・動物実験計画の承認について（令和 6 年 9 月 24 日付け稟議書）
- ・動物実験終了報告書（承認番号 23・24）
- ・動物実験結果報告書（承認番号 23・24）
- ・実験動物飼養保管報告書（承認番号 23・24）
- ・令和 6 年度 自己点検報告書（動物実験実施状況）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果

- ☐ 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。
- ☒ 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)
4) 改善の方針、達成予定時期

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か？飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・新潟工科大学食品機能開発研究センター利用マニュアル (平成 24 年 7 月 4 日制定) ・令和 6 年度 自己点検報告書 (実験動物飼養保管施設管理状況)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 飼養保管が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか？修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 令和 6 年度 自己点検報告書 (実験動物飼養保管施設管理状況)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 食品機能開発研究センターは適正に維持管理が実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験責任者からの教育訓練の実施結果に関する報告 (電子メール)

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

動物実験実施者及び飼養者 (該当者 3 人) に対する教育訓練は過年度 (令和 4 年度 1 人・令和 5 年度 2 人) に適正に実施されていたため、当該年度における教育訓練の実施はありません。

また、令和 5 年度より、動物実験責任者が実験動物管理者を兼務しているため、令和 6 年度の実験動物管理者における教育訓練の実施はありません。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

新潟工科大学ホームページ (大学概要 ▶ 情報公開 ▶ 4. その他「(1) 動物実験関係」)

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

情報公開を平成 25 年度から実施している。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。

(動物実験責任者が作成するもの)

食品機能開発研究センター運営委員会 御中

令和6年度 自己点検報告書(動物実験実施状況)

提出日 R7.3.31

動物実験責任者	(所属) 食品・環境化学系		
	(氏名) 久保田 真敏	(職名) 准教授	
	(連絡先TEL) 0257-22-8108	(e-mail) m.kubota@niit.ac.jp	
研究課題	デンプン分解米胚乳タンパク質の摂取による腸内細菌叢の変動が食事誘導性肥満モデルマウスの肥満に与える影響 承認番号 第 23 号		
動物実験の実施期間	R6.9.24 ~ R7.3.31		
使用動物種	C57BL/6マウス(雄性)	左の動物数	66
1. 総合的实施状況	総合的に見て、適正に実施することができたか。 ☒ 良好 ☐ nenn		
2. 動物の選択	使用動物種は適正であったか。また、動物を適正に用いたか。 ☒ 良好 ☐ 改善すべき点があった		
3. 動物数の削減	使用動物数(実験使用数及び繁殖数)の削減に努めたか。 ☒ 良好 ☐ 改善すべき点があった		
4. 動物の選択苦痛軽減及び安楽死	動物の苦痛軽減、排除及び安楽死を適正に行ったか。 ☒ 良好 ☐ 改善すべき点があった		
5. 施設等の利用	動物飼育室及び動物処置室を適正に使用したか。 ☒ 良好 ☐ 改善すべき点があった		
6. 事故の発生	動物実験等における感染、環境汚染その他事故の措置等の有無。 ☒ なし ☐ あり		
	・発生日時:	被災者名:	
	・発生日時:	被災者名:	
	・発生日時:	被災者名:	
7. 特記事項			
※ 意見等 (委員会記入欄)	記入日 : R7.5.26 ☒ 特に問題なし ☐ 下記の点につき注意を要する		

記入要領

1. 研究課題は、実験計画書の「研究課題名」を記入してください。
2. 承認番号は、申請書に記載の承認番号を記入してください。
3. 動物実験の実施期間は、当初承認時の実験実施期間を記入してください。また、期間の変更がある場合には、通期の実験実施期間を記入してください。
4. 項目1から5について、改善すべき点があった場合には、下の枠内にその理由を簡潔に記載してください。
5. 項目6について、事故の発生があった場合には、下の枠内に発生日時と被災者名を記入してください。
6. 項目7については、必要に応じて記入してください。
7. ※の項目については、滋養・薬効研究センター運営委員会が記入するので、記入しないでください。

(動物実験責任者が作成するもの)

食品機能開発研究センター運営委員会 御中

令和6年度 自己点検報告書(動物実験実施状況)

提出日 R7.3.31

動物実験責任者	(所属) 食品・環境化学系		
	(氏名) 久保田 真敏	(職名) 准教授	
	(連絡先TEL) 0257-22-8108	(e-mail) m.kubota@niit.ac.jp	
研究課題	絶食, 再摂食がラット血中パラメータに与える影響 承認番号 第 24 号		
動物実験の実施期間	R6.9.24 ~ R6.11.21		
使用動物種	SDラット(雄性)	左の動物数	20
1. 総合的实施状況	総合的に見て、適正に実施することができたか。 ☒ 良好 ☐ nenn		
2. 動物の選択	使用動物種は適正であったか。また、動物を適正に用いたか。 ☒ 良好 ☐ 改善すべき点があった		
3. 動物数の削減	使用動物数(実験使用数及び繁殖数)の削減に努めたか。 ☒ 良好 ☐ 改善すべき点があった		
4. 動物の選択苦痛軽減及び安楽死	動物の苦痛軽減、排除及び安楽死を適正に行ったか。 ☒ 良好 ☐ 改善すべき点があった		
5. 施設等の利用	動物飼育室及び動物処置室を適正に使用したか。 ☒ 良好 ☐ 改善すべき点があった		
6. 事故の発生	動物実験等における感染、環境汚染その他事故の措置等の有無。 ☒ なし ☐ あり		
	・発生日時: 被災者名:		
	・発生日時: 被災者名:		
	・発生日時: 被災者名:		
7. 特記事項			
※ 意見等 (委員会記入欄)	記入日 : R7.5.26 ☒ 特に問題なし ☐ 下記の点につき注意を要する		

記入要領

1. 研究課題は、実験計画書の「研究課題名」を記入してください。
2. 承認番号は、申請書に記載の承認番号を記入してください。
3. 動物実験の実施期間は、当初承認時の実験実施期間を記入してください。また、期間の変更がある場合には、通期の実験実施期間を記入してください。
4. 項目1から5について、改善すべき点があった場合には、下の枠内にその理由を簡潔に記載してください。
5. 項目6について、事故の発生があった場合には、下の枠内に発生日時と被災者名を記入してください。
6. 項目7については、必要に応じて記入してください。
7. ※の項目については、滋養・薬効研究センター運営委員会が記入するので、記入しないでください。

(動物実験責任者が作成するもの)

食品機能開発研究センター運営委員会 御中

令和6年度 自己点検報告書(実験動物飼養保管施設管理状況)

提出日 R7.3.31

管理責任者	(所属)	食品・環境化学系		
	(氏名)	久保田 真敏	(職名)	准教授
	(連絡先TEL)	0257-22-8108	(e-mail)	m.kubota@niit.ac.jp
承認番号	第 23 号			
飼養保管施設名称	新潟工科大学食品機能開発研究センター			
1. 総合的管理状況	総合的に見て、適正に管理することができたか。 ☒ 良好 ☐ 改善すべき点があった			
2. 動物実験及び飼養保管の状況	動物を適正に飼養・保管し、動物実験に用いたか。 ☒ 良好 ☐ 改善すべき点があった			
3. 安全確保	人の安全に配慮した適正な環境が整備されていたか。 ☒ 良好 ☐ 改善すべき点があった			
4. 環境保全	適正な環境を維持することができたか。 ☒ 良好 ☐ 改善すべき点があった			
5. 事故の発生	動物実験等における感染、環境汚染その他事故の措置等の有無。 ☒ なし ☐ あり			
	・発生日時:		被災者名:	
	・発生日時:		被災者名:	
	・発生日時:		被災者名:	
6. 特記事項				
※ 意見等 (委員会記入欄)	記入日 :	R7.5.26	☒ 特に問題なし ☐ 下記の点につき注意を要する	

記入要領

- 1. 承認番号は、申請書に記載の承認番号を記入してください。
- 2. 項目1から4について、改善すべき点があった場合には、下の枠内にその理由を簡潔に記載してください。
- 3. 項目5について、事故の発生があった場合には、下の枠内に発生日時と被災者名を記入してください。
- 4. 項目6については、必要に応じて記入してください。
- 5. ※の項目については、滋養・薬効研究センター運営委員会が記入するので、記入しないでください。

(動物実験責任者が作成するもの)

食品機能開発研究センター運営委員会 御中

令和6年度 自己点検報告書(実験動物飼養保管施設管理状況)

提出日 R7.3.31

管理責任者	(所属)	食品・環境化学系		
	(氏名)	久保田 真敏	(職名)	准教授
	(連絡先TEL)	0257-22-8108	(e-mail)	m.kubota@niit.ac.jp
承認番号	第 24 号			
飼養保管施設名称	新潟工科大学食品機能開発研究センター			
1. 総合的管理状況	総合的に見て、適正に管理することができたか。 ☒ 良好 ☐ 改善すべき点があった			
2. 動物実験及び飼養保管の状況	動物を適正に飼養・保管し、動物実験に用いたか。 ☒ 良好 ☐ 改善すべき点があった			
3. 安全確保	人の安全に配慮した適正な環境が整備されていたか。 ☒ 良好 ☐ 改善すべき点があった			
4. 環境保全	適正な環境を維持することができたか。 ☒ 良好 ☐ 改善すべき点があった			
5. 事故の発生	動物実験等における感染、環境汚染その他事故の措置等の有無。 ☒ なし ☐ あり			
	・発生日時:		被災者名:	
	・発生日時:		被災者名:	
	・発生日時:		被災者名:	
6. 特記事項				
※ 意見等 (委員会記入欄)	記入日 : R7.5.26 ☒ 特に問題なし ☐ 下記の点につき注意を要する			

記入要領

- 1. 承認番号は、申請書に記載の承認番号を記入してください。
- 2. 項目1から4について、改善すべき点があった場合には、下の枠内にその理由を簡潔に記載してください。
- 3. 項目5について、事故の発生があった場合には、下の枠内に発生日時と被災者名を記入してください。
- 4. 項目6については、必要に応じて記入してください。
- 5. ※の項目については、滋養・薬効研究センター運営委員会が記入するので、記入しないでください。